

第3次井手町地域福祉計画・活動計画(素案)に対するご意見・ご提案募集の結果

- 1 意見募集期間 令和4年2月2日(水)～2月16日(水)
- 2 意見提出者数 2個人
- 3 ご意見の要旨と意見に対する考え方

	ご意見	意見に対する考え方
1	<p>現状分析では人口減少や高齢者夫婦・高齢者ひとり暮らし世帯の増加、要支援・要介護認定の増加がみられる。</p> <p>p16では今までの取り組みとして、介護保険サービスや障がい福祉サービスの適切な利用に向けた地域包括支援センターや各事業所との連携、調整、ひとり親家庭や生活困窮者への適切な助言・支援を関係機関との連携のもと進めてきたとあるが、その結果、どのような改善がみられたのか。</p>	<p>地域包括支援センター等の関係機関と連携することにより、情報の共有や必要な介護サービスや障がいサービスを提供できたものと考えています。</p> <p>今後も地域福祉計画の基本目標に明記しております「適切な支援につながる事が出来る地域づくり」に基づき関係機関と引き続き連携等を行ってまいります。</p>
2	<p>アンケート結果では、地域の助け合いや支え合いに対する考えについて、20歳代や北地区、北部地区では「ふだん付き合いがないので考えにくい」が最も高くなっている。(p23、24)</p> <p>これらに対して、行政としてどのような方策をもっているのか。今までの取り組みに成果はみられたのか。</p>	<p>若い世代の方も地域福祉を担う団体に参加出来るよう団体への補助金支給を今後も継続し活動を支援します。</p>
3	<p>アンケート結果の「ボランティア活動の状況について」(p25)</p> <p>ボランティア活動には、自主性が大事。ボランティア活動を使い捨てるの労働力と考えてもらっては困る。</p>	<p>ご意見の通り、ボランティア活動は強制されて行うものではなく、自発的な活動であることが前提です。</p> <p>本町・社協では、各個人の自主性を尊重しつつ、既に活動していただいている方や今後活動してみたいと考えている方に対しては情報提供や活動しやすい環境整備などに取り組むとともに、活動したことがない方に対しては新たに興味を持ってもらえるようなきっかけづくりに取り組むなど、住民・地域との協働の下、より良い地域づくりを進めていきたいと考えています。</p>
4	<p>アンケート結果の「住んでいる地域で気になること」(p31)</p> <p>買い物は生きていく上で必要不可欠なものであり、「買い物など日常生活が不便である」と感じている人が80.7%いるということは、人口を増やす意味でも喫緊の課題である。乗合タクシーや小型バスなどの住民の「足の確保」が課題だ。</p>	<p>地域福祉計画の基本目標に明記しております「安心・安全な地域づくり」に基づき社会福祉協議会等と連携のもと新たな移動支援について検討を進めます。</p>

第3次井手町地域福祉計画・活動計画(素案)に対するご意見・ご提案募集の結果

5	<p>p38の「安心・安全な地域づくり」に関して、玉水駅西出口前の府道では、最高速度が30kmなのに50kmで走る車が多数である。人身事故を防ぐためにも信号機の設置が必要。事故が起きてからでは遅すぎる。町として今後どのようにして命を守るのか。</p>	<p>道路管理者である京都府において、カラー舗装やポストコーンを設置するなどの対策を実施していただき、また、町としても、減速を促す注意喚起看板などを設置してきたところです。今後も引き続き、信号の設置を含め、警察などの関係機関と協議してまいりたいと考えています。</p>
6	<p>p45の社会福祉協議会の取り組みで「単独で公共交通機関を利用することが著しく困難な人の通院・公的機関への送迎を運転協力会員が行います。」は良いと思うが、圧倒的に足りないドライバーをどのように確保するのか。また、福祉移動サービスは重度の障がいのある方の病院への送迎等を目的に実施していることから、生活の利便性を高めるための乗合タクシーや小型バスの運行は必要である。</p>	<p>普通自動車免許所持者は2日間の運転者講習を受講することで、福祉移動サービスの協力会員として活動していただくことができます。新型コロナウイルス感染症拡大以降、運転者講習会が中止となっていたため、協力会員を増やせない状況となっていましたが、令和3年12月より講習会が再開され、協力会員を増やすことができています。また、次回(令和4年3月)の講習会にもすでに複数名にご参加いただくことが決まっており、今年度中に協力会員数がさらに増加する見込みです。今後も広報紙等で協力会員募集の呼びかけを継続していきますので、ぜひ皆さまのご協力をお願いします。</p>
7	<p>p58の「認知症高齢者」とは「認知症であってなおかつ高齢者」という意味か、「認知症や高齢者、障がいのある人」という意味か。「若年性認知症」患者はどうするのか。</p>	<p>標記の「認知症高齢者や障がいのある人」については、一例として記載しているものでありますが、広い意味で捉えていただくため、表現の見直しを行いたいと思います。</p>
8	<p>住民アンケートやワークショップから移動支援が大きな課題になっていることが分かるが、それに対応する行政の具体的な施策が書かれていない。移動手段がない人に対する行政の具体的な取り組みを書き加える必要がある。それが書かれていないと、住民アンケートやワークショップで明らかになった最も大きな課題に積極的に取り組まないことになるのではないかと。例えば隣接する木津川市ではコミュニティバスが運行されている。</p>	<p>項目4番で回答しているように、地域福祉計画の基本目標に明記しております「安心・安全な地域づくり」に基づき社会福祉協議会等と連携のもと新たな移動支援について検討を進めます。</p>